

# 平成29年度 住民懇談会の報告

10月31日から11月12日までの間、町内5会場で行った住民懇談会を開催し、多くの町民の皆さまにご参加いただきました。

今年度の懇談会では、名取町長より町の財政状況と来年度の政策方針について説明しました。また脇坂教育長よりコミュニティスクールと多目的交流広場について説明があり、参加された皆さまからご意見・ご質問等を伺いました。

※各会場での意見・質疑の中から主なものを報告します。

## 多目的交流広場について

### ◆説明概要と現在の状況

町民センター前に整備中の多目的交流広場について、大型遊具等を整備するために4,000万円の追加経費が必要となり、これまでの経過と追加経費の内容について説明させていただきました。

追加経費が必要になった理由として、  
①詳細設計の金額に基づいた予算化ができていなかった、②役場内の連携調整が不十分であった、③設計者からの遊具の具体案が住民の要望に比べられるものでなかった、④社会情勢により建設費が急騰したこと、などが挙げられます。

大型遊具の整備は子どもや子育て世代からの要望が強く、住民懇談会でも多くの皆さまからご意見をいただきました。これらのご意見に基づき、町では12月議会へ追加予算を提出し、承認

していただきました。

### ◆賛成意見について

・これまでは大型遊具のある他の市町村の公園に行っていた。計画を立てる際に子ども達にとったアンケートでも大型遊具が欲しいとの回答が多数あったと聞いている。大型遊具があることで町の公園に行きつきかけになる。公園に集うことで、親同士の交流のきっかけにもなり、子育ての推進に繋がる。

### ◆反対意見について

・大型遊具は最初から計画していたにも関わらず、整備の途中で経費が足りなくなったから予算を追加するのはおかしい。大型遊具なしで公園を完成させ、必要なら再度検討して整備してはどうか。

### ◆その他の意見について

・役場の事業の進め方が問題。  
・水場があるとのことだが、衛生面に十分配慮して欲しい。  
・防犯対策、外灯の整備などしっかりと欲しい。



## 太陽光発電事業について

◆開発予定の事業はいくつあるのか。

**A** 10キロワット以上の規模で町に相談が来ている案件は17件。(10月31日現在)

◆開発に対して規制はあるのか。

**A** 10キロワット以上の事業については、再生可能エネルギーのガイドラインの対象となる。また2,000平方メートル以上は町の環境保全条例の対象となる。その他、場所や規模に応じて県の景観条例や林地開発が関わってくる。いずれの場合にしても、住民との合意形成を図ることを事業者へ求めている。

◆事業終了後の対応については

**A** 大規模案件については町から撤去費用や現状復旧のために預金等の担保を事業者に求めている。廃業の場合には事業継承者も担保するように求めている。

◆その他の意見について

・厳しい規制を作してほしい。  
・ゾーニング(地域の土地利用を面的に規制していくこと)が必要では。  
・小学校や通学路付近での開発については、保護者や学校に通知するよう指導して欲しい。

## 防災対策について

**Q** 台風21号の際に地域の川が氾濫する恐れがあったが町の対応は。また、台風の被害が出ている箇所への対応状況は。

**A** 今回の台風の際にも建設課でパトロールを実施し、必要に応じて消防団に支援を要請した。また被害箇所については緊急性を考慮して順次整備しており、施工の際には地域に事前に関連している。

**Q** 豪雪災害に備え、集落に除雪機を貸し出す体制を整えては。

**A** 平成26年の豪雪災害後に検討したが実施には至らなかった。コミュニケーション助成を活用して除雪機を整備した地区があるので、検討して欲しい。

**Q** 水道管の耐震化を進めてほしい。

**A** 町内の本管についてはほとんどがダクタイル鋳鉄管（金属管で強度がある）で布設されている。現在2次避難所に行くような管路を主に布設替えしている。

## 福祉について

**Q** 産後、授乳相談や検診する場所がないので、町内に産科が欲しい。

**A** 産科医の確保が難しい。授乳相談など産後の相談には保健センターの保健師が対応するので相談して欲しい。

**Q** 発達障害に関しては進学や就職のたびに、支援機関が変わり、繋がりが途切れてしまう。継続した支援体制を整備して欲しい。

**A** 町では幼児期は住民福祉課保健予防係（保健センター）で、学齢期は子ども課総務学校教育係で、学齢期以降は住民福祉課社会福祉係でそれぞれに保健師を配置して相談に応じている。保健師間の情報共有、連携により切れ目のない支援を行っている。

**Q** PET検診（がんの再発や転移に対して早期発見できる検診）について助成する考えは。

**A** がんの早期発見について、PET検診は有効だが、町では、健康増進のため生活改善予防に活用できる基礎健康データが得られる人間ドックへの補助をしている。PET検診に対する助成の必要性は研究する。

**Q** 新しい地域包括支援体制では、住民が主体となって地域課題を解決する体制を整えるとのことだが、地域に加入しない住民への対応は。

**A** 地域住民だけで対応が難しい問題には、相談支援包括推進員が支援する体制を今後研究していきたい。

## その他について

**Q** 人口対策について名取町長は前町長の方針を継続するのか。

**A** 前町長はある部分に突出する方針で人口対策を進めてきたが、私は行政サービス全体をバランスよく底上げしていきたい。

**Q** 森のオフィスの現状、人口減少対策の成果、IT産業支援の今後は。

**A** 現在7社が入居しており、7社とも経営状況は良好と聞いている。また、個人で森のオフィスを使用して働いているコワーカの利用も活発化している。森のオフィスに関連する移住者は、平成29年10月末で、家族を含めて30人ほどが移住している。今後は他の産業支援同様、人材確保についても支援していく。

**Q** 教育の多様化が進んでいる。町立の保育園に関しては第3子以降の無償化が進んでいるが、私立や無認可の幼稚園（すずらん保育園や森の幼稚園ほっち等）に関しても無償化を検討して欲しい。

**A** 県と協力して補助金を創設し、一部については補助している。

**Q** 落合保育園の園舎についての方向性（新築・改修）は。新築する際は

には落合地区の住民や保護者に負担金を求めることだが本町が。

**A** 新築を要望する声はあるが少子化や費用の観点から結論が出ない状況で、今後も保護者や地域に対して説明会を開いていく。

まずは現在利用している園児のために一部を改修して居住性を高める。また、新築する際に、落合地区の住民や保護者にだけ負担金を求めることは絶対がない。

**Q** マウンテンバイクの愛好家にとつてパラマリゾートは聖地である。町全体で盛り上げてはどうか。

**A** 地域住民の参加や子ども達も参加できるイベントを検討していきたい。

**Q** 第5次総合計画の進捗を公表して欲しい。

**A** 第5次総合計画については、前期4年、後期4年の計8年計画。平成30年度が前期の最終年度にあたるため、来年度に前期4年間の振り返りを実施し、その結果については公表する。

この他にもたくさんの方のご意見をいただきました。詳細については町ホームページをご覧ください。

皆様からお寄せいただいたご意見を参考に、これからもよりよい町づくりを進めてまいります。